


個人投資家向け会社説明会

株式会社丸山製作所（証券コード6316）

次の100年を創る
-All for the Future-



目次

1. 会社概要
2. 製品紹介
3. 直近の決算状況
4. 中期経営計画
5. 株主還元施策

目次

1. 会社概要
2. 製品紹介
3. 直近の決算状況
4. 中期経営計画
5. 株主還元施策

会社概要：ひと目で分かる丸山製作所

防除機で
トップシェア

スタンダード
市場上場
9月決算機械
メーカー

多彩な産業分野
で活躍する
ポンプ技術

海外売上高
比率26%

2025年に
創業130周年

連結売上高
414億円
(2023年9月期実績)

参考：防除とは・・・

食糧の安定供給の確保を図る重要な農業製品



農業機械業界



農林業用機械

防除機・林業機械

トラクター／コンバイン
田植機

各種作業機械



会社概要：沿革

- 1895年 新潟県高田町にて丸山商会を創業（日本で初めて消火器を製造）
- 1918年 人力噴霧器の製造・販売
- 1935年 動力噴霧機の製造・販売
- 1937年 株式会社丸山製作所を設立
- 1961年 東京証券取引所市場第二部に上場
- 1967年 工業用ポンプを開発
- 1977年 東京証券取引所市場第一部に指定
- 1990年 オリジナル2サイクルエンジン開発
（日本で最後発の2サイクルエンジンメーカー）
- 2000年 新環境型2サイクルエンジンを開発
カリフォルニア州排ガス規制クリア
- 2004年 消火剤リサイクル…eco 消火器を販売
- 2012年 キャビン付ハイクリブームの開発
- 2016年 マルチローター（ドローン）の開発
- 2017年 ハイクリブーム3000Lタイプの開発
- 2023年 ハイクリブーム2000Lタイプの開発
- 2023年 2ストローク水素エンジン、安定運転に成功
- 2025年 **創業 130 周年**



丸山式消火器



刈払機



バッテリー動噴



ブロワー



カーウォッシャー



キャビン付ハイクリブーム
（乗用管理機）



マルチローター（ドローン）

会社概要：当社の事業内容



農林業用機械分野

現在、丸山グループの基幹となっている事業です。
丸山独自のポンプを使用した農薬などの散布に用いる防除機は、
変化し続ける農家の皆様のニーズに対応すべく、
多種多様な製品を製造・販売しております。
また、自社製の2サイクルエンジンを使用した草を刈る機械である刈払機、
木を切るチェーンソーなども扱っています。

産業機械分野

現在、丸山製作所が力を入れている事業です。
高圧洗浄機や洗車機、ミスト装置などに使われる
産業用の高圧ポンプの開発・製造を行っております。
また、畜舎内での病原菌の感染を防ぐ車両消毒装置など、
環境衛生機器分野にも丸山製作所のポンプは活用されております。

防災関連分野

丸山製作所は日本で最初に消火器の製造・販売をした企業です。
多様化する社会の中で「環境とより安全な消火器で社会に貢献する」という
理念のもと、消火薬剤のリサイクル化を進め、
技術改良と製品開発により、さまざまなニーズに対応しております。

会社概要： [国内の販売・生産・サービス拠点]

本社 東京都千代田区

生産拠点 4ヶ所
千葉県東金市（2ヶ所）
長野県須坂市
岡山県苫田郡

営業拠点 全国 25ヶ所
北海道（江別・帯広） / 青森 / 岩手 / 秋田 /
山形 / 宮城 / 福島 / 茨城 / 栃木 / 千葉 / 新潟 /
長野 / 山梨 / 石川 / 愛知 / 静岡 / 大阪 / 広島 /
岡山 / 香川 / 福岡 / 熊本 / 鹿児島 / 宮崎

物流拠点 3ヶ所
福島県 / 千葉県 / 岡山県

関係会社 日本クライス株式会社
マルヤマエクセル株式会社
西部丸山株式会社
丸山物流株式会社
双葉商事株式会社
M-Innovations株式会社

千葉工場 (東京ドーム3個分の敷地)



物流拠点(福島)



西部丸山 (岡山)



全国規模で事業を展開 ⇒ 充実した販売・サービス体制を確立

会社概要： [海外拠点・取引先]

世界80か国以上の国々との取引実績



目次

1. 会社概要
- 2. 製品紹介**
3. 直近の決算状況
4. 中期経営計画
5. 株主還元施策

主要製品 製品カテゴリー



農林業機械



BIG-M商品



工業用ポンプ



消火器



緑化関連商品



環境衛生・ビルメンテナンス
関連商品

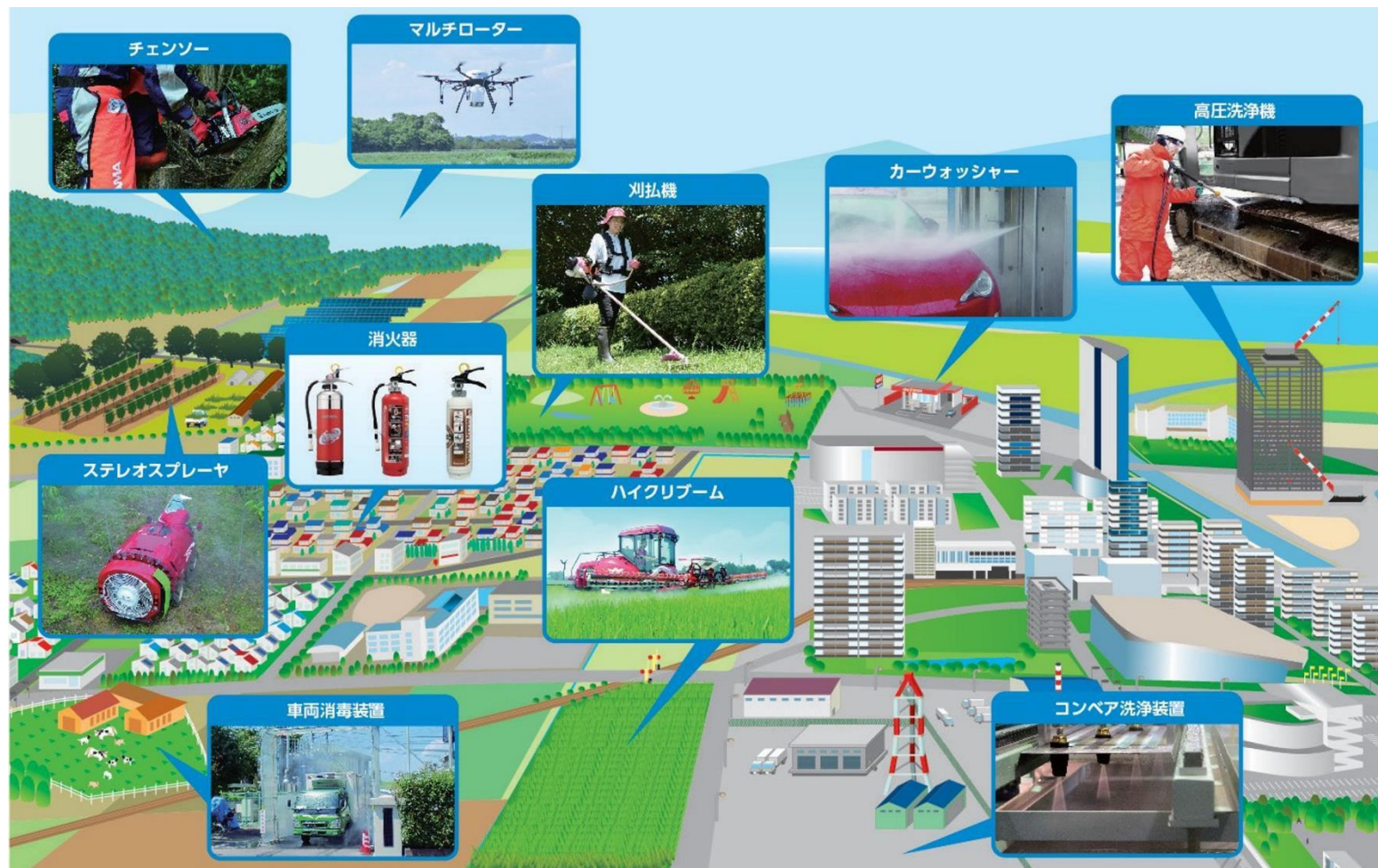


畜産・施設園芸関連商品



建機・リース関連商品

主要製品 こんなところに丸山製品！

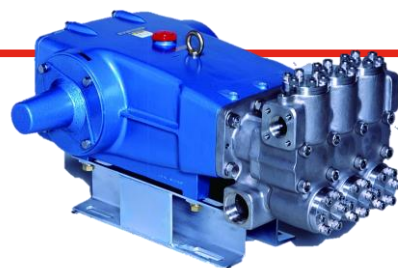


主要製品

当社の製品は様々な分野でトップシェアを獲得しています。



ポンプ製品の農業用防除機で
国内トップシェア



海外（米国）でのカーウォッシュ用ポンプで
トップシェア



エンジン製品の刈払機で
ホームセンター流通国内トップシェア

主要ポンプ製品（農業機械分野）

田・畑での防除作業



牛舎での除菌作業



【畑・ビニールハウス】

背負動力噴霧機



【果樹園】

ステレオスプレーヤ



【田・畑】

ハイクリブーム



主要ポンプ製品（産業機械分野）

スパウターによる消臭作業



スタジアムの抗菌 抗ウイルスコーティング



テーマパークで使用されるミスト



高圧洗浄機



温度管理ミスト



カーウォッシャー



災害時緊急給水 RO



主要エンジン製品

刈払機



ブロワー



ヘッジトリマー



チェーンソー



背負動力噴霧機



その他製品

消火器



シャワーヘッド



MUFB温水洗浄機



目次

1. 会社概要
2. 製品紹介
- 3. 直近の決算状況**
4. 中期経営計画
5. 株主還元施策

2024年9月期 第3四半期 業績概要

単位：百万円	2023年9月期 第3四半期 実績		2024年9月期 通期予想	2024年9月期 第3四半期実績				
	金額	売上高 比率		金額	金額	前年同期比		売上高 比率
						増減額	増減率	
売上高	29,501	—	42,000	29,089	▲412	▲1.4%	—	
営業利益	1,244	4.2%	2,000	1,096	▲148	▲11.9%	3.7%	
経常利益	1,240	4.2%	2,000	1,084	▲156	▲12.6%	3.7%	
当期純利益	948	3.2%	1,400	681	▲267	▲28.1%	2.3%	
為替レート 米ドル	134円		140円	151円				
為替レート ユーロ	146円		150円	163円				

経済

- ・ 新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の解除による需要回復が一巡する中で、緩やかな回復基調
- ・ 地政学的緊張の高まりの長期化による資源やエネルギー価格の高騰
- ・ 各国におけるインフレ抑制に向けた金融引き締めによる経済成長率の減速懸念及び為替相場の変動

変動要因

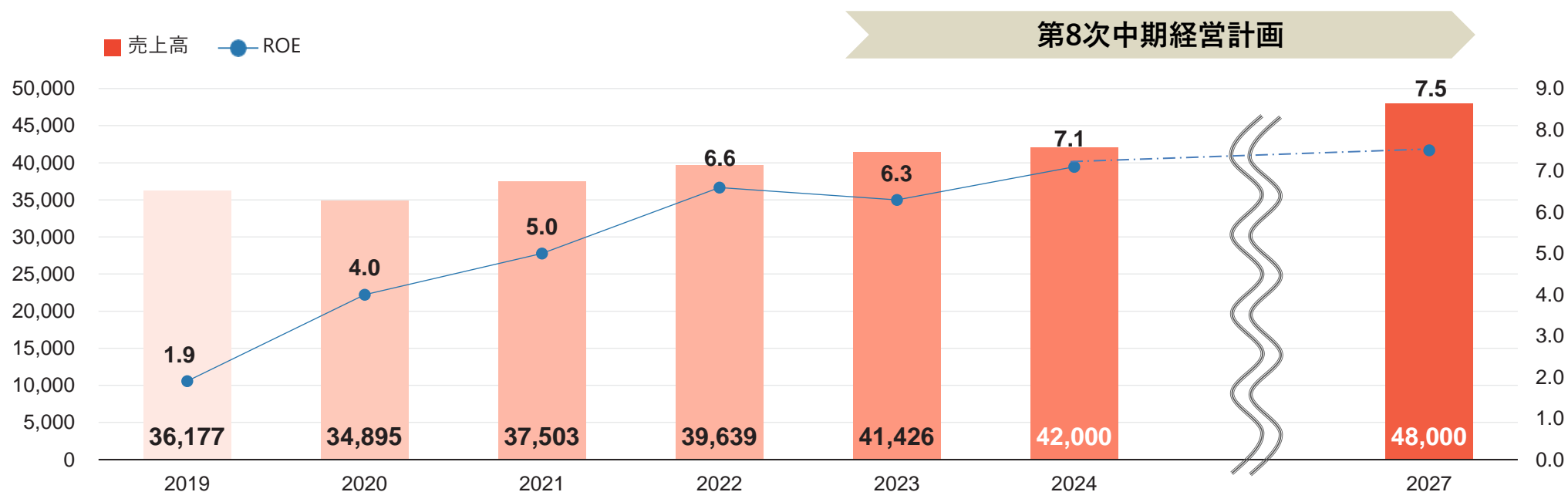
- 【日本】 ・ アグリ向け大型機械の増加 ・ 工業用ポンプの減少 ・ 洗浄機の減少 ・ 消防機械の増加
 【海外】 ・ 中南米向け動力噴霧器、刈払機の減少 ・ 北米及び欧州向け工業用ポンプの減少

目次

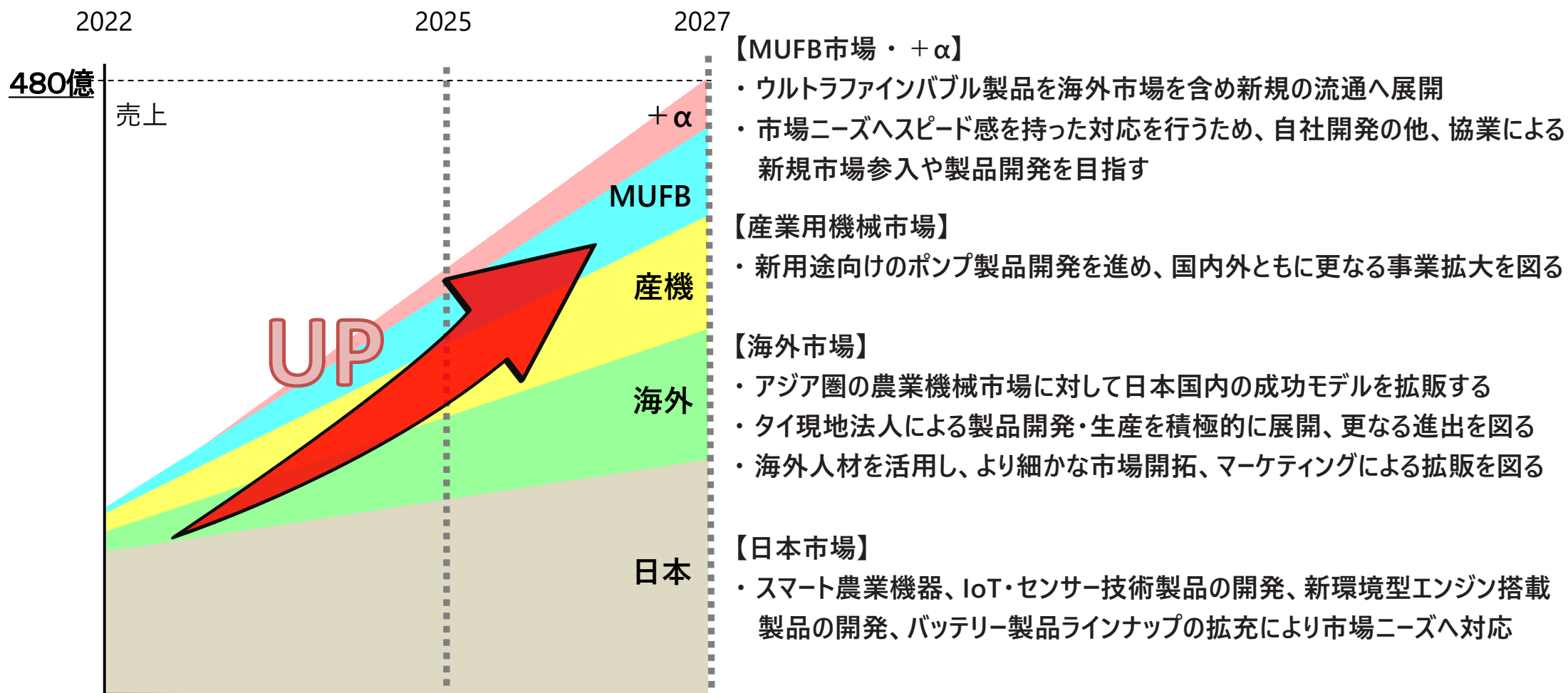
1. 会社概要
2. 製品紹介
3. 直近の決算状況
- 4. 中期経営計画**
5. 株主還元施策

第8次中期経営計画の目標

単位：百万円	2023年9月期 実績	2024年9月期 目標値	2027年9月期 目標値
売上高	41,426	42,000	48,000
営業利益	1,732	2,000	2,800
ROE	6.3%	7.1%	7.5%



第8次中期経営計画 事業成長イメージ



成長事業の創出：MUFB(ウルトラファインバブル)技術

農業



- ・野菜のハリ、ツヤが良くなった
- ・果物の収穫量、甘さも増した
- ・減肥栽培に有益性が発揮された



水産業



- ・鮮度が長く保たれるようになった
- ・畜養での死滅率が減った



ウルトラファインバブルとは 1 μ m 以下の微小な泡

- 洗浄力の向上
- 浸透性の向上
- 生理活性効果
- 泡の長期滞在

工業

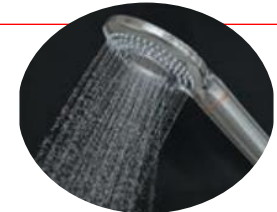


- ・洗浄力の向上により洗剤の量が減った
- ・金属加工で使う切削液が長持ちした
- ・燃料使用時のCO2が削減された

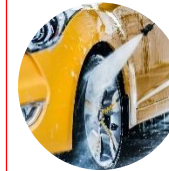
家庭



- ・髪や肌がうるおった
- ・節水しながら洗うことができる
- ・排水溝のニオイがなくなった



洗浄



- ・トイレの尿石が取れた
- ・臭いが減った
- ・除塩、除油作業の効率が良くなった



成長事業の創出：海外事業の成長

アジア圏

“アジア圏”

タイ・インドを含め、アジア圏での生産を増強し、アジア圏での更なる展開に取り組みます。

“インド”

インド向けハイクリブームの生産販売に向け、部品調達を行い、インド市場の開拓を行います。
また、インドでの現地調達部品を日本へ輸入し、コストダウンを図ってまいります。

“ベトナム”

R&D現地法人の設立を皮切りに、大型機械の販売準備を進めてまいります。

北米

工業用ポンプの新製品投入と、OPE事業の成長を図ります。

中南米

OPE及び農業用製品の拡販を行うため、リソースの拡充を図ります。

海外売上高比率

現在 26%



2027年度 35%

成長事業の創出：スマート農業・環境型製品への取り組み

温水洗浄機

- ・温水のウルトラファインバブルによる高い洗浄力と結晶融解効果で、しつこい油汚れや沿岸部における潮風、冬場の融雪剤により付着した塩などを素早く除去
- ・従来の水道水での洗浄と比べ使用燃料削減とCO2排出量の削減や、作業時間短縮による使用水量の削減を実現

MUFBは、農業分野をはじめ、多くの分野での実用化が進んでおり、今後も新分野への実用化を行うべく



研究開発を進めてまいります。



次の100年を創る
-All for the Future-

ドローン

- ・防除機メーカーである当社による農業用に特化した扱いやすい機体を販売
- ・GPS信号を受信した自動制御飛行
- ・資格取得の教習からアフターサービスまでトータルサポート体制を構築



ドローンの普及
および安全な操作に向けて取り組みます。

環境型製品

- ・廃消火器のリサイクルへの取り組み
- ・当社グループの廃消火器回収率は90%以上
- ・薬剤のリサイクル率95%以上を継続
- ・その他、消火器本体の容器や、ホースに関してもリサイクル



環境負荷低減に向けたエコ消火器として、持続可能な社会づくりに貢献します。

サステナビリティへの取り組み

ESG経営、SDGsの達成に向けた取り組みをより一層推進するため、サステナビリティ専門家を招き、経営層を中心としたサステナビリティ委員会、将来を担う若手メンバーを中心としたサステナビリティ推進委員会にて、サステナビリティの方針、重要課題、KPIなどのテーマについて議論を進めております。
また、サステナビリティに関するレポート開示に向けた取り組みを進めております。

丸山グループのコアテクノロジーであるポンプとエンジン技術を最大限発揮し、食・水・環境の分野において、事業活動を通じたサステナビリティを実現し、グローバルに社会貢献できるよう活動を継続してまいります。



【丸山製作所グループのサステナビリティ】



2024

健康経営優良法人

Health and productivity

健康経営への取り組み

- ・健康経営プロジェクト発足
- ・各本部分科会・女性分科会の立ち上げ
- ・ウォーキングイベント、運動会の開催
- ・参加型オンライン健康セミナーの実施
- ・社内報などを用い、健康の正しい情報発信
- ・ウェルネスストアを導入し、eラーニングや健康に関する動画を従業員へ提供

目次

1. 会社概要
2. 製品紹介
3. 直近の決算状況
4. 中期経営計画
5. 株主還元施策

参考：株価の推移 2017年-2024年

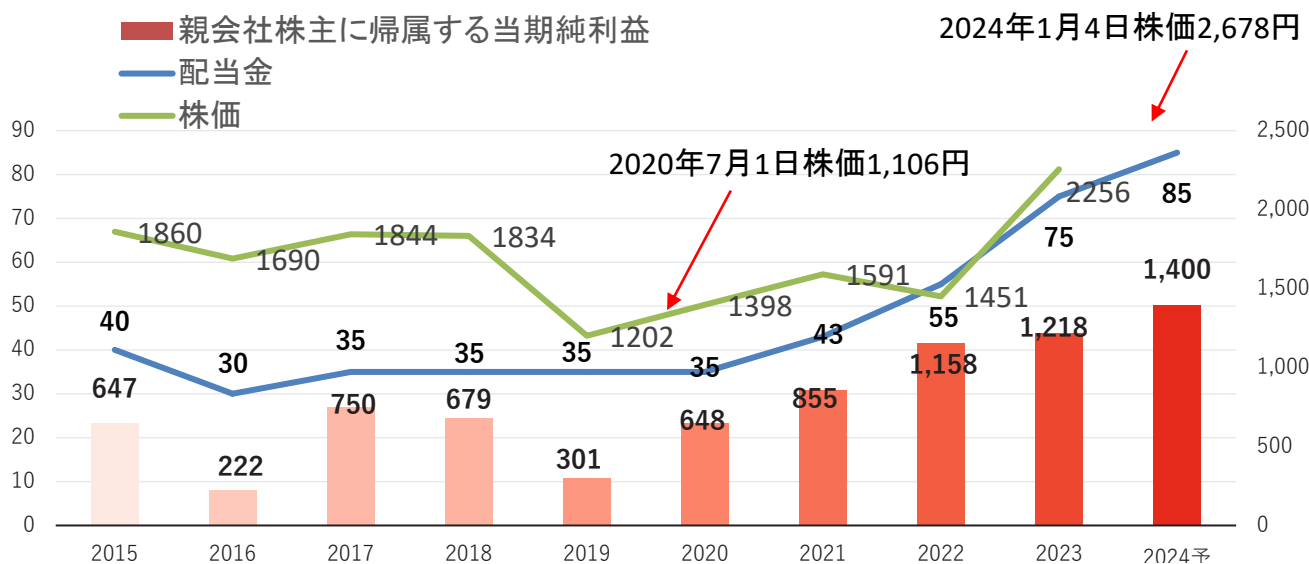
8月21日時点：株価(終値) 2,287円 / 配当利回り 3.72% / PER 6.94倍 / PBR 0.48倍



株主還元

・ 当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と位置づけ、将来の事業展開に必要な内部留保・各種投資、並びに業績見込みなどを勘案し、25%～30%の安定的な配当を継続することを基本方針としております。また、健全な経営の維持と将来の経営環境への対応を勘案しながら、株主還元を更に充実させていくことは重要と捉え、今後、配当性向の向上、自己株式の取得等に取り組み、長期安定的な配当水準の向上に積極的に努めてまいります。

・ 来期の配当予想額は 1 株につき 85 円



ご参考 - 配当性向 2023年9月期

配当金のみ	27.1%
株主優待を含めた配当性向	28.4%

ご参考 - 総還元性向 2023年9月期

配当金額	330 百万円
株主優待総額	15 百万円
自己株式取得総額	263 百万円
合計	609 百万円
総還元性向	50.0%

配当性向	30.3%	66.1%	22.9%	25.1%	56.1%	25.7%	23.5%	21.4%	27.1%	26.1%
-------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------

※ 2017年4月1日付で普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、1株あたりの配当金については2010年に株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

株主優待

株主の皆様からの日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式に対する中長期的な投資魅力を高めることを目的として、株主優待制度を実施しております。

- ・ ESG活動の一環としてQUOカード1枚につき10円を社会貢献団体に寄付することとし、自然保護等に役立ててまいります。

【贈呈対象】

毎年9月30日の当社株主名簿に記載されており、100株以上の当社株式を1年以上継続保有されている株主様

継続保有期間	保有株数	株主優待
1年以上3年未満	100株以上	QUOカード1,000円分
3年以上5年未満	100株以上200株未満	QUOカード2,000円分
	200株以上	QUOカード2,500円分
5年以上7年未満	100株以上200株未満	QUOカード3,000円分
	200株以上	QUOカード4,000円分
7年以上	100株以上200株未満	QUOカード5,000円分
	200株以上	QUOカード6,000円分

注) 継続保有期間の確認にあたっては、3月31日及び9月30日の株主名簿に連続して記載される同一の株主番号の回数並びに各回において100株以上の確認を基準といたします。

- ・ 1年以上3年未満：株主名簿に100株以上の保有を、連続3～6回記載
- ・ 3年以上5年未満：株主名簿に100株以上の保有を、連続7～10回記載
- ・ 5年以上7年未満：株主名簿に100株以上の保有を、連続11～14回記載
- ・ 7年以上：株主名簿に100株以上の保有を、連続15回以上記載

注) 以下の場合株主番号が変わり、継続保有となりませんのでご注意ください。

- ・ 証券会社の貸株サービスを利用して貸株された場合
- ・ 保有株式を全て売却した後に買い戻した場合
- ・ 株式をお預けの証券会社を変更された場合
- ・ 名義変更などにより株主番号が変更された場合

参考：IRスケジュール





次の100年を創る
-All for the Future-

